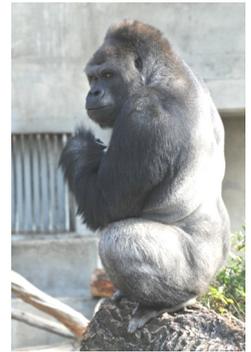


12月14日 土木交通委員会（田口一登委員長・藤井ひろき議員）

ゴリラ・チンパンジー舎を改築

16億円で広いスペースと立体展示で本来の姿をめざす



12月11日の土木交通委員会で、東山動植物園ゴリラ・チンパンジー舎の整備について説明がありました。

開園100周年に向け順次整備

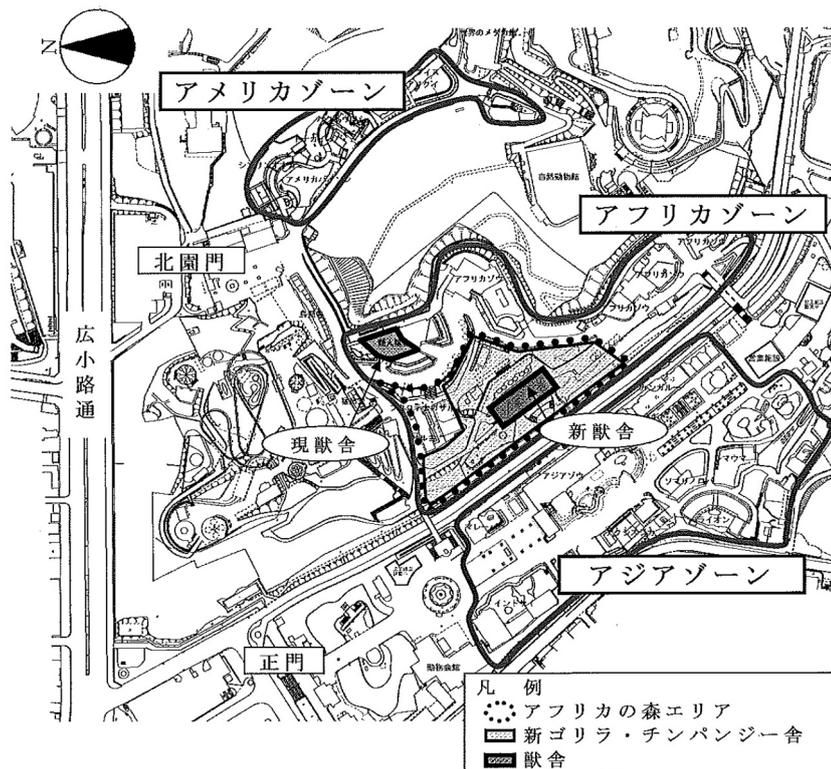
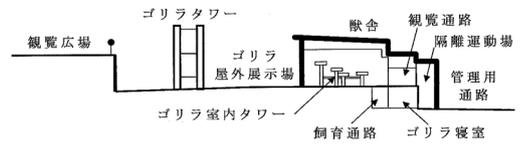
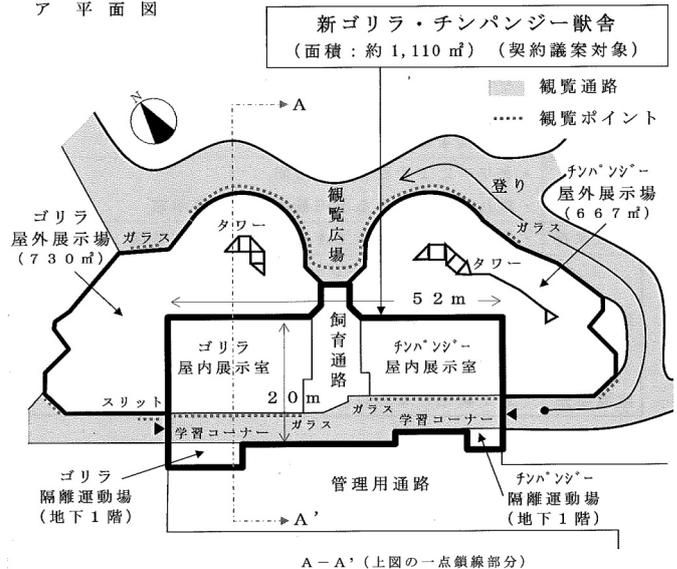
東山動植物園は2036年度の開園100周年に向け整備をすすめています。東山再生プラン全体は、なごや東山の森（東山公園・平和公園）約400haを対象に15ゾーンで生態的な展示や行動展示など多様な展示を計画し、全体事業費は約350億円、年間目標入園者数は350万人となっています。

今回のゴリラ・チンパンジー舎の改築は、30年度からのオープンをめざし、獣舎7億円など全体で16億円を予定しています。屋内外合わせて国内最大級の広さになり、タワーも設置し、ダイナミックな展示にしたいとの説明がありました。現在地は隣のオランウータンをアジアの熱帯雨林エリアに移設して、後はサバンナエリアに改装する計画です。

藤井ひろき議員は、「ツイッターでも8万人以上がアクセスするなど関心も高い。情報発信もしっかりやってPRもすすめてほしい」と要望しました。

今春からイケメンゴリラとして世界的に話題になっている、西ローランドゴリラのシャバーニ（オス19歳）

ア 平面図



（参考）東山動植物園再生プランの経緯

| 年度 | （主な整備箇所） |
|--------|--|
| 2008年度 | ・チンパンジー舎展示施設 ・桜の回廊 ・地域の自然学習林 ・東海モデル林 ・くらしの森 |
| 2009年度 | ・ニホンザル舎展示施設 ・ゾウガメ舎展示施設 ・メダカ館展示施設 ・くらしの森 ・ふれあいの森 |
| 2010年度 | ・アメリカバイソン舎展示施設 |
| 2011年度 | ・シンリンオオカミ舎 ・バードホール ・アシカ・アザラシ舎 ・ペンギン舎 ・フクロテナガザル舎 ・オオアリクイ ・ヤブイヌ舎 |
| 2012年度 | ・アジアゾウ舎（ゾージアム） ・営業施設（カフェ、物販、レストラン） |
| 2012年度 | ・バクトウワシ舎 ・ツシマヤマネコ舎 |
| 2014年度 | ・アジアゾーン休憩所 |
| 2015年度 | ・営業施設（フードコート） ・アフリカの森エリア 整備着手 |